2020年8月14日			
差枚	-806枚	RANK	B

実戦機種

パチスロ偽物語、ディスクアップ、ハナビ、SLOTバジリスク～甲賀忍法帖～Ⅲ
パチスロ TIGER&BUNNY

実戦レポート

喜ぶべきことに、この実戦で定期的にお邪魔しているホールの朝の並び人数が、全体的にかなり増えてきている。今回のお店もまさにそうで、駅を出て5秒で即入店できる好立地の店前に約80人もの抽選待ちの行列が出来ていた。そのちょうど真ん中あたりにいたオレが引いた番号は「44番」。その数字を見た瞬間、先月の苦い記憶がありありと思い出された。稼働が高く、粘る人も多く、朝イチで高設定に座れなければほぼアウト。そしてその高設定は、入場順が前の方の人たちに座られてしまう可能性が高い。メイン機種はもう諦めて、少数台機種かバラエティ、ノーマルタイプあたりでピンポイントの当りを狙うしかないか…。

そんなイメージで入店し、先客たちが予想通りに星矢SP、まどマギシリーズ、バジリスク絆2などを抑える中、オレが選んだのは「パチスロ偽物語」。すると、設定差のある小役の一つである弱チェリーをポンポンと引いて、演出と筐体ランプがざわざわ。こ、これはまさか…？　そしてチャンス目からボーナスを引き、終了後に連続演出成功から出てきたのは「和解の儀」。ぬおおおお！　ARTゲーム数への貢献もさることながら、弱チェリーから和解へと繋がること自体がかなり設定差の大きいやつ！　ピンポイントの正解を一発で掴んだか!?　設定6より5のほうが弱チェリー成立時の和解モードが上がりやすいので、ここからの設定推測は5を想定して監視していこうか。ということで、スイカ確率や、スイカからの状態移行＆CZ突入、ボーナス中のビタ押し背景絵などをポチポチ数えていくと、お昼頃にはその答えが徐々に明らかになってきた。この台、たぶんハズレだ…。ぐおおおお！　なんで朝イチだけ絶妙に変なヒキを発揮するかね!?　と、嘆いていても始まらない。さ、次の台を探すか…。

うーん、やっぱり厳しいな。この時点で早くも全台系、当りの末尾ともにけっこう絞られており、該当する台はガチガチに粘られているか、とんでもないデータで「こりゃ無いわ」って捨てられているかのどっちかだ。ディスクアップやハナビを打ちつつ負債を増やしつつ、バジリスクⅢなんかもちょっと触って「やっぱりダメだ」とか言いながら時間だけが過ぎてゆく…。そんな中、店内をぐるぐる歩き続けていたオレの目に留まったのが、2箱いっぱいのメダルを流す「パチスロTIGER&BUNNY」だった。全く打ったことは無いけど、面白いという評価はけっこう聞くし、バラエティの一番目立つカド台に置かれているので前々から気になっていたのだ。どうせ他にアテのないし、ダメで元々…と打ち始めると、実に可もなく不可もなくといった展開で、それでも最後に引いたATがそこそこ伸びてくれたおかげで、800枚ほどのコインを流して終了。後から聞いたところ、どうやらタイバニは高設定っぽかったらしい。よーし、今度また狙ってみるか！